

目黒巻WSの普及に向けた取り組み



2004年～2009年にかけて様々な組織や集団を対象に、計18回のWSの実践・普及活動を行った

目黒巻WSの実践から得られた課題

災害未経験者には災害状況をイメージするための手助けが必要

乳幼児施設の防災力向上のためには行政・乳幼児保護者との課題の共有が必要

新潟県中越地震の被災経験者(妊産婦・乳幼児保護者)を対象としたアンケート調査から、体験・教訓を収集

東京都の「子どもを守る災害対策検討会」に参加し、福祉・防災各分野の専門的知見を収集

過去の災害からの教訓

専門的知見

妊産婦・乳幼児保護者向けの **パンフレット** を作成

内容

1. イン트로ダクション
2. 事前対策(書き込み式)
3. 参照用災害状況ストーリー
4. 書き込み式ストーリー
5. 被災経験者からのメッセージ
6. 東京都の防災情報先
7. 防災の文献・HP資料

※東京都のHPからダウンロード可能
 (地震がくる前に子どものためにできること で検索)
 ※参照用災害状況ストーリー(参照ストーリー)の一例

東京で地震が起こったら

ケース1: Aさん(妊娠8か月)の場合

地震発生時
 地震発生時の状況
 揺れの最中
 揺れが収まる
 避難生活の様子
 避難終了後の様子

パンフレットを用いたWS参加者の感想

参照ストーリーの内容が詳しく、とても参考になった
 ボランティアの目線からのストーリー等、もっと別の参照ストーリーを追加してほしい
 被災者からのメッセージがとても参考になった

目黒巻WSの成果～下馬鳩ぼっぼ保育園の場合～

WSの報告書作成

WSに参加できなかった保護者とも情報共有ができた

防災マニュアル作成

避難訓練マニュアル
 避難マニュアル
 連絡マニュアル
 を作成した

落下防止・飛散防止対策の実施

重い器具の落下防止対策やガラスの飛散防止対策が行われた

目黒巻WSの検証

目黒巻記入

個人レベルの防災イメージの形成

疑問・不安・課題の顕在化

集団レベルの防災イメージの形成

疑問・不安・課題の共有化

おしゃべり

既存の防災対策を見直し、効果的に避難訓練や対策を再検討することが可能となる

結論・・・目黒巻WSにより災害イメージが形成・共有され、個人から集団までの防災イメージが向上することが確認できた。またモデル園でのWS後の調査を通じて、ソフト・ハード両面での防災対策が具体的に進展したことも確認された。